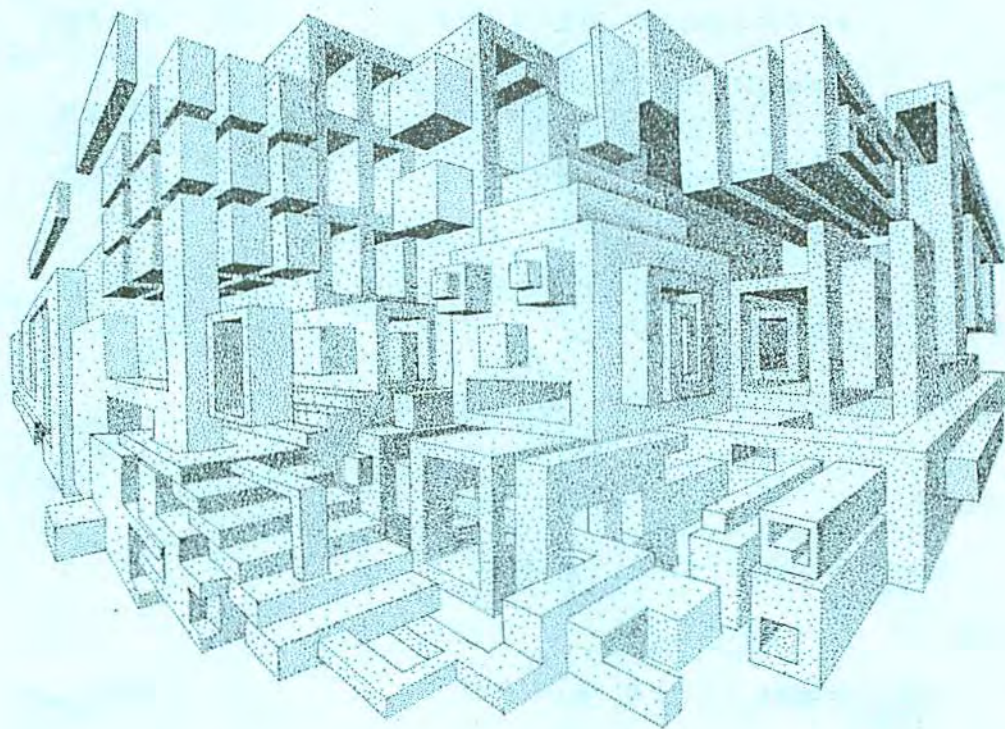


横須賀市立中学校
第24回 中学生の主張大会

日時 平成20年(2008年)10月11日(土)

会場 横須賀市立横須賀総合高等学校SEAホール



久里浜中3年 源嶋花奈

主催 横須賀市教育委員会

主管 横須賀市生徒会指導研究部会

運営 横須賀市中学校連合生徒会

◆時程

8:30 ~ 9:00 受付・入場	9:00 ~ 9:20 開 会 式	9:20 主張開始	10:45 ~ 11:00 休 憩	11:00 ~ 12:00 主張再会	12:00 ~ 12:20 閉 会 式
----------------------	----------------------	--------------	----------------------	-----------------------	------------------------

◆開会式

司会	坂本中学校 (清末聡太 嘉山智子)		
開会の言葉	主張大会中心校 衣笠中学校		納谷みのり
あいさつ	横須賀市教育委員会 学校教育課長		中山俊史
	中学校文化連盟会長 池上中学校校長		森尾吉治
	特別活動研究会 生徒会指導研究部会会長 武山中学校校長		丹澤芳明
生徒代表の言葉	主張大会中心校 衣笠中学校		櫻井達哉
アトラクション	合唱「進め わが同輩よ」		

◆中学校連合文化祭スローガン

「あふれる感動にふれ合おう 心に刻む文化の光」

◆閉会式

司会	坂本中学校 (清末聡太 嘉山智子)		
感想発表			
参加賞の授与	中学校文化連盟会長 池上中学校校長		森尾吉治
大会の反省	主張大会中心校 衣笠中学校		山崎梨菜
全体講評	横須賀市教育委員会 学校教育課指導主事		小板橋貴久
閉会の言葉	主張大会中心校 衣笠中学校		大西凌人

◆主張発表

司会 公郷中学校 吉川良太 佐藤 翼

発表順	題 名	学 校	学 年	氏 名
1	常葉中の宝	常 葉	3年	阿部 岬
2	私の感性	岩 戸	3年	有本 瀬菜
3	私の将来の夢	上の台	3年	若菜 洋子
4	僕の足	武 山	3年	鈴木 健人
5	いじめのない学校	鴨 居	3年	石渡 亜依
6	たしかなこと	大 津	3年	上野 千明
7	食と日本の危機	池 上	3年	今井 理佳子
8	牙のない羊とロボットたちの世の中	大 楠	2年	間瀬 海太
9	心の伝え方	長 沢	3年	上岡 玲美子
10	お互いを尊重するために	神 明	2年	笠原 陽子
11	人間関係の調和	北下浦	2年	須山 真翔
12	今、この瞬間	坂 本	3年	日水 真理
13	基地の町、横須賀	長 井	3年	鈴木 悠也
14	父親の立場	馬 堀	3年	ビガロウ マイケル
15	心を合わせて	野 比	3年	山下 奈緒子
16	成長 ～挑戦・出会い～	衣 笠	3年	新倉 里彩
17	読書の楽しさ	久里浜	2年	松田 悠
18	救いの手	田 浦	3年	高田 郁美
19	挨拶の必要性	公 郷	3年	板倉 周平
20	「命の灯」永遠に	不入斗	3年	野瀬 麻悠香
21	いじめをくいとめよう	大矢部	3年	垂水 勇太
22	学歴社会について	追 浜	3年	石川 涼平
23	世界の中の日本の立場	鷹 取	3年	吉田 瞳
24	中学生は交際すべきか	浦 賀	3年	三谷 愛美

◆マナーについて

参加に当たって

1. 時間を守る(受け付け・休憩・食事等)
2. 服装、持ち物、会場での態度に注意する
3. 名札をつける

館内使用について

1. 館内は走らない
2. 館内外の公共物を大切にす
3. 館内(ホール内)では飲食をしない
4. トイレはきれいに使用する

発表中の態度について

1. 発表中は静かに聞く
2. 発表に対しては積極的に拍手を送る
3. 発表中は特別なことがない限り席を立たない
4. 発表中の途中入場はしない

第24回 中学校の主張大会に寄せて

言論の自由と主張大会・・・どこまで主張できるか・・・

特別活動研究会 生徒会指導研究部会長
武山中学校長 丹澤 芳明

日本国憲法で「表現の自由・言論の自由」が保障されています。単純に考えるとどんな文章を書いても、何を発言してもいいように思えます。ところが最近、政治家や芸能人・スポーツ選手の「失言」が問題になり、失職するとかテレビや試合に出られなくなるケースが多発しています。

「言論の自由」といっても、言うてはいけないことが沢山あり、発言をめぐって社会的に大問題になります。マスコミは問題の軽重と関係なく責任追及で国民をあおり、ワイドショー化しますから、「失言」を恐れて発言を控える風潮も生まれそうです。

言論の自由はどこまで保障されるべきか、反省・謝罪して許される・絶対に許されない範囲はどこまでか・・・。国家・国民の成熟度が問われています。

実は人としての本質が問題なのです。正しいものの考えをする・世のため人のためを思う人は、自由に発言しても問題にならず、人の心を動かします。反対に人を差別する・考え方に偏見がある・人格的に卑しい人は、いつかポロが出るものです。

さて、わが連合生徒会の主張大会、君たちは自然に発言しても大丈夫、むしろ君たちの前向きな考え方によって感動が生まれることだと思います。君たちの主張に期待します。

主張大会に向けて

主張大会中心校
衣笠中学校生徒会長 櫻井達哉

主張文を発表される各学校の代表者の皆様、主張文発表のために多くの時間を使ってきたと思います。ご苦労様でした。どのようにすれば相手に伝わるか、また何を一番伝えたいかを考えながら主張文を作ったことと思います。また話し方の工夫などを通して、きっと日常生活では得ることができないことを得られることと思います。

このように推敲してできた主張文を聞く機会はほとんどありません。主張大会では何十人もの主張を聞くことができます。主張の内容だけでなく何を工夫して主張しているのか、何を一番伝えたいのかを聞いてみるとより深く話を理解することができるのと同時に、その主張の真意が分かり、主張者がどのような人であるかということも見えてくるかもしれません。

今回の主張大会では、どんな主張があるのでしょうか。主張を聞いて視野を広げ、それぞれの日常生活に是非活かして下さい。それが、主張大会の成功だと私は思います。